



高温障害対策に

農林水産省登録  
第20058号

殺菌・植物成長調整剤  
**フジカン**®  
1キロ粒剤

# 白未熟粒の発生を軽減!!

白未熟粒  
(乳白粒)



完全粒



## その他の白未熟粒



心白粒  
中心部が白濁



基部未熟粒  
基部が白濁



腹白粒  
腹側が白濁



背白粒  
背側が白濁



写真：イメージ



詳しくは  
特設サイトを  
チェック!

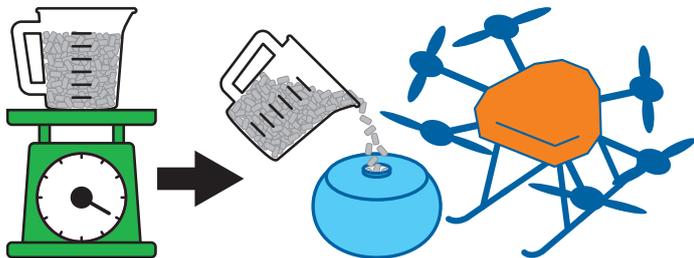
※玄米の胚を下にして立てた際に、胚がある側を腹側、反対側を背側と呼びます。

®は日本農業(株)の登録商標

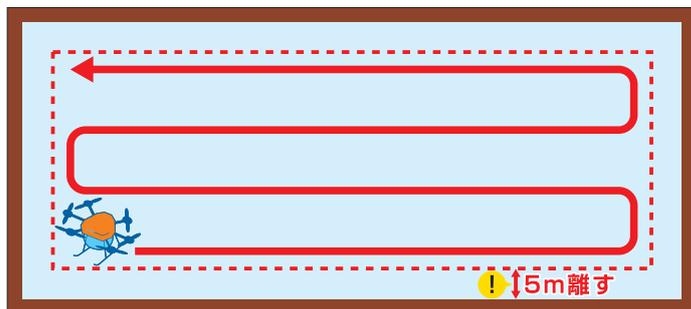
「WCS用稲に使用できる農業のリスト」に記載



## 無人航空機散布での上手な使い方



- 圃場面積に合わせて秤量後、薬剤タンクに入れて散布してください。
- 入りきらない場合は2回に分けて散布する等の対応をしてください。
- 過投下を防ぐために畦畔で仕切られた1圃場ごとに必要量を秤量し、散布してください。



※圃場散布のイメージです。実際には操縦者側の枕地を散布するなどイラストと異なりますので、マニュアルを守って安全に作業してください。

- 圃場中央部を移動しながら規定量を散布してください。
- ドリフトリスクを避けるため畦畔から5m程度離してください。

## ■使用目的・適用病害虫および使用方法

<2026年1月現在の登録内容>

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	登熟歩合向上	1kg/10a	出穂10～20日前 但し、収穫30日前まで	1回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)
	高温登熟下における 白未熟粒の発生軽減					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イソプロチオランを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	1～1.5kg/10a	葉いもちに対しては初発7～10日前 穂いもちに対しては出穂10～30日前 但し、収穫30日前まで	2回以内	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	3回以内 (移植前は1回以内、 本田では2回以内)
	稲こうじ病	1kg/10a	出穂10～30日前 但し、収穫30日前まで			

## 注意事項

- 育苗箱には使用しないでください。
- 散布に当っては、田水深を3cm以上の湛水状態とし、散布後少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。なお、極端な漏水田での使用はさけてください。
- 本剤は予防的に散布した場合に有効であり、葉いもち防除の使用適期は初発の7～10日前です。発生予察情報に注意して時期を失わないように早目に散布してください。穂いもち防除の使用適期は出穂20日前（葉いもちの発病程度、気象条件などにより出穂10～30日前）です。なお、本剤の使用適期は稲の品種あるいは地域により前後することがあり、また、多発時の散布は効果が劣る場合があるので、使用に当っては使用時期を誤らないように病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 朝露や降雨により葉がぬれている場合は、粒剤が直接葉に付着して葉害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- 無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
  - ① 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
  - ② 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整してください。
  - ③ 散布薬剤の飛散によって他の動植物等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 稲の登熟歩合向上を目的として使用する場合は、低温や高温等生育不良条件下で効果的であるので、これらの条件下で使用することが望ましいです。
- 稲の高温登熟下における白未熟粒の発生軽減を目的として使用する場合は、高温登熟条件下で効果的であるので、この条件下で使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とししてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載内容以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。 ● 使用後の空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

2026年1月作成 全新企画社 P4202601003